

10 加藤小兵衛商店 (かとうこへしやうてん)

松原通富小路西入 ☎075-351-1932

江戸末期頃の創業。環境に優しく、天然の接着剤・防腐剤・塗料として使われる漆の精製及び漆器・漆工資材を製造する老舗。店先には、様々な漆器の木地製品を展示する。また、敷地内の土蔵では、うるし塗り教室が開催されており、お椀や重箱などが自作できる。



11 西村松寿堂 (にしむらしやうじゆどう)

富小路通松原下る ☎075-351-0424

明治18(1885)年の創業。茶道で湯を沸かすために用いる風炉(ふうろ)や茶釜、鉄瓶などの茶道具類、及び銅製の花瓶や吊灯籠などの工芸品を販売する老舗。店頭では、銅・鉄製品などの金属工芸品の取扱いが主であり、店先には鉄風炉や鉄瓶などを展示する。



12 KAKOボビンレス工房

富小路通万寿寺上る一筋目西入 ☎075-361-0686

ヨーロッパの伝統工芸である手織りレースの工房及び展示室。古い町家を改装した室内には、19世紀のアンティークレシーブ100点余りの他、ボビンなどの道具、参考図書も展示する。西陣の絹糸を使つたレース編み体験も可能。(見学可能時間11:30~18:00、木曜・日祝日を除く)



13 福永念珠舗 (ふくながねんじゆほ)

不明門通上珠敷屋町角 ☎075-343-0541

寛政9(1797)年創業の老舗。小間物問屋として創業したが東本願寺前という地の利などから念珠製造に転じ、本山の御用も務める。各宗派の数珠を手作りで製造販売しており、店内には600点以上の数珠が並ぶ。店先には、仏像や仏具なども展示・販売。予約による腕輪念珠作り体験も実施している(5名以上)。



14 京扇堂 (きやうせんどう)

東洞院通正面上る ☎075-371-4151

天保3(1832)年の創業。京扇子を製造販売する老舗。涼をとる夏扇をはじめ、日本舞踊に使う舞扇、茶席に携帯する茶席扇、僧侶が法要で持つ中啓扇(ちゆうけい)など各種の扇子を取り揃える。店先には、飾り扇などを展示し、予約による京扇子・絵付け体験も実施している。



15 崇仁船鉾 (すうじんふなぼこ)

堀小路通高島角 ☎075-371-8220(崇仁コミュニティセンター)

新日吉神宮(東山区)の祭礼に合わせて崇仁地区から現き出される祭屋台。昭和30年代後半以降放置されていたが、地域意識により、同じく崇仁地区に伝わる十二燈(だんじり)のついでに、木彫りや木彫り変型工芸品などを取り揃え、平成10年に復元された。木彫りや変型工芸品など、幕末の構えを受け継ぐ店先には、お茶碗や水指を展示する。



まちなが再発見

下京ぶらり見て歩き

東部編

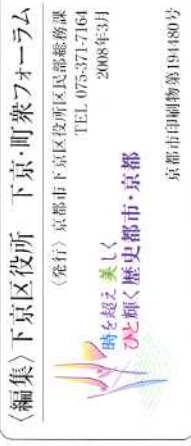


商工業のまち下京

平安京建都で官営市場の置かれた下京は、商業のまちとして歴史が豊富です。室町期には、新町四条と新町七条を中心に商工業者の集まる商業地域が発展しますが、応仁・文明の乱でまちは灰燼(かいじん)と化します。やがて四条を中心にまちは復興し、豊臣秀吉の京都大改造や東西両本願寺の寺内町の形成を経て、商工業のまち下京は以前に増して栄えます。

こうしたまちの歴史を背景に、今も下京区内には、伝統的な技術と技法で日本の文化や生活に結びついた製品などを作り出す伝統産業の工房や店舗が数多くあります。

このマップは、その店先などを尋ねながら、まち歩きを楽しんでもらおうと企画しました。歴史と伝統文化にあふれる下京のまちを歩けば、きっと何か再発見があるはずですよ。



9 谷名金属箔粉製作所(たになきんぞくばんせいしよ)

松原通東洞院東入 ☎075-351-4170

昭和24(1949)年の創業。京都の伝統工芸には欠かせない金箔や金粉に関連する商品を取り扱う専門店。金時絵(きんまきえ)や金箔張りの加工、金屏風の製作も手がける。店先には、毎年限定生産されている純金箔張り・漆彩色仕上げの干支瓦などを展示する。



8 上羽絵惣 (うえばえそう)

東洞院通高辻下る ☎075-351-0693

宝暦年間(1751~1764)の創業。日本画用絵具を専門に製造及び卸販売する老舗。ホタテ貝が原料の胡粉(ごぶん)や希少な天然鉱石を原料とする天然岩絵具をはじめ、扱う商品は700点、扱う色は1200色にも及ぶ。店先には、色とりどりの岩絵具などを展示する。



7 川上漆器 (かわかみしつき)

高辻通富小路西入 ☎075-361-0356(代)

安政3(1856)年の創業。漆器の卸販売の老舗。以前は京漆器の製造も手掛けており、現在もオーダーメイドの製作には応じる。高度な技法により優美な蒔絵(まきえ)を施した高級品の京漆器をはじめ、店先には食器、調度品などの漆器製品を展示する。

4 倭紙の店(わがみのみせ)

東洞院通仏光寺上る ☎075-341-1419

昭和2(1927)年の創業。柔らかくても強く寿命が長いことを特徴とする和紙。そんな和紙のことなら何でも揃う専門店。店内には、葉書・封筒・便箋・千代紙など身近なものから、書道用紙・貼り絵色紙・木版印刷用紙・美術紙、更には襖紙まで各種の和紙・和紙製品・小物が並ぶ。



5 久保田美簾堂(くぼたみれんどう)

東洞院通仏光寺下る ☎075-351-0164

明治16(1883)年の創業。屋内・屋外用の簾(すだれ)、祭礼・宗教用の御簾(みす)を製造販売する老舗。数十年の使用にも耐えるこの店の御簾製品は、有名な神社仏閣に納品されている他、ニューヨークのメトロポリタン美術館にも日本ブローヌ用に保管されている。店先には、簾・御簾製品その他、一般竹製品も展示する。



6 吉田宗兵衛商店(よしだそうべしやうてん)

寺町通仏光寺下る ☎075-351-1012



文久元(1861)年の創業。各流儀の稽古道具から茶会道具まで取り扱う茶道具販売の老舗。店内には、聚楽焼が発祥とされる栗焼や清水焼のお茶碗・水指、京友禅や西陣織の帛紗(ふくさ)など、京都ならではの品を揃える。幕末の構えを受け継ぐ店先には、お茶碗や水指を展示する。

1 京都島津絵本店(きょうとしまづえほんてん)

高倉通四条下る ☎075-341-1181(代)

天保4(1833)年の創業。有職(ゆうそく)節句人形の老舗。宮中御用達の木具師から発祥した。有職とは有職から変化した言葉で、宮中での儀礼などに詳しいこと又は詳しい人のこと。店では、衣装・装束・小道具に至るまで史実考証に基づいた人形が作られており、店先には、雛人形・五月人形など季節ごとの京人形を展示する。



2 小田切積善堂薬局(おだぎりせきぜんどうやつきや)

堀小路通麩屋町西入 ☎075-351-3279

明治23(1890)年創業の保険調剤薬局。医院を一般に医家と呼んだころから処方箋の受付を行っていたという老舗。店先には、多くの種類の漢方薬を入れるため、たかさんの引出しがついていたことからそう呼ばれた百味筆筒(ひやくみだんす)や薬材を細かくひくくために使われた薬研(やげん)を展示する。



3 高橋提燈(たかはしちやうてん)

柳馬場通堀小路下る ☎075-351-1768



享保15(1730)年の創業。各種の提灯・和傘・お祭り用品を製造販売する老舗。あらゆる提灯を手作り・手書きで製作しており、有名な浅草寺雷門の大提灯なども手掛けた店。オリジナルの提灯は1つからでも注文に応じる。店先には、様々な形をした大小の提灯があふれる。